

# 県産スギ大径材の利活用に関する研究 －フォーバイ材等の性能評価－

林業研究部

## 1. 研究の背景

- ・ 枠組壁工法に用いられる部材はSPF材が主だが、ウッドショックによる価格高騰等により、業界では国産材への転換を図る動きがある
- ・ 枠組壁工法に用いられる幅広い枠組材は、全国的に課題となっているスギ大径材の需要先として期待できる  
⇒大分県産スギ大径材を枠組材へ活用するため、スギ大径材から製材した枠組材が国交省が定める各種基準強度※1を満たすか早急に確認が必要

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

「2018年枠組壁工法建築物構造計算指針」に基づき、曲げ試験、引張試験、縦圧縮試験、せん断試験を実施

試験結果と基準強度に応じた等級区分

寸法 型式	曲げ強度			引張強度			圧縮強度		寸法 型式	せん断強度	
	試験 本数	特級	1級	試験 本数	特級	1級	試験 本数	特級		試験 本数	基準強度以上
204	—※	—	—	—※	—	—	48	48	共通	79	79
205	27	27	—	27	27	—	54	54			
206	—※	—	—	—※	—	—	54	54			
208	—※	—	—	—※	—	—	54	54			
210	—※	—	—	33	33	—	48	48			
212	—※	—	—	29	29	—	48	48			
204w	72	72	—	27	27	—	36	36			
304	78	76	2	26	26	—	38	38			
306	35	35	—	28	28	—	69	69			
404	72	71	1	27	26	1	36	36			
405	36	35	1	27	27	—	64	64			
406	35	35	—	31	31	—	54	54			
408	37	37	—	27	27	—	36	36			

※1 「木材の基準強度Fc、Ft、Fb及びFfsを定める件（最終改正 R2.8.28 国交省第821号）」



曲げ試験



引張試験



縦圧縮試験



せん断試験

※既報（年報No. 59, 2017）にて基準強度を満たすことを確認済み

各種強度について基準強度を十分満足

**大分県産スギ大径材から得た枠組材は、利用上問題ないものと思われる。**

## 3. 期待される効果

枠組材分野における国産材転換の流れに沿って、県産スギ材のシェア拡大とともに、スギ大径材の利活用促進を図る。

## 4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター 林業研究部 木材チーム  
住所：大分県日田市大字有田字佐寺原35 電話：0973-23-2146